

議会改革推進会議

第3回会議 次第

日時：令和元年9月30日
午後3時～

場所：議事堂大会議室

1 開 会

2 協議事項

(1) 常任委員会のインターネット録画配信について

(2) 議会報告会の試行について

3 報告事項

(1) 第2回広報編集委員会での協議内容について

(2) その他

4 その他

5 閉 会

<資料等>

- ・資料1 検証用録画に対する主な意見
- ・参考資料 インターネット録画配信に向けた常任委員会の運営方法について（第2回配付資料）
- ・資料2 議会報告会の試行について
- ・資料3 県議会議員の出前講座の結果について
- ・資料4 高校生と県議会議員との意見交換会の概要
- ・常任委員会インターネット録画配信に向けた検証用録画に対する会派意見（整理用紙）

検証用録画に対する主な意見

<ソフト関係>

○県当局、議員とも簡潔な発言が大切（視聴者がわかりやすい様に）、長時間に渡り、質問し続ける議員も見受けられるので、議員の質問時間についても議論すればどうか。

○概ね良いと思うが、次のとおり、気になった点がいくつかあった。

- ・ 3時間を超える場合、トイレ休憩等も必要ではないか。
- ・ 答弁者も1問ごとに発言待機席に座るようにしてはいかがか。
- ・ 録画配信されることを考慮し、導入等の発言には、より注意すべきである。
- ・ 当局側の部長の前にだけ、ペットボトルの水があるのが気になった。

<ハード関係>

○カメラ位置は現在の場所（説明・答弁・質問者が写る）で良いと思う。

○録音ボリュームが低いせいか、マイクが悪いのか、音量が聞き取りにくい点がしばしばある。

インターネット録画配信に向けた常任委員会の運営方法について

論点1

報告事項が多い、報告が長いとの指摘もあり、報告事項を厳選すべきでないか。

(参考) 経営企画委員会では、H30から定例的なものは資料配付のみとしている。

論点2

視聴している県民にとって分かりやすい議論とは、どういうものか。

- ・本会議も含め、質問の重複をなくす、議論を深めていく。
 - ・質問に対して的確に答弁する。
- ⇒ ゆるやかな事前通告制を採用するか。(≡ 現状どおり)

論点3

正副委員長申合せ事項である「簡潔な質疑・質問と説明・答弁、委員相互間の均衡」を具体化するか。

- ・費用対効果、生産性向上という視点は必要ないか。
- ・働き方改革という視点も必要ではないか。
- ・議論を深める技法的なアプローチを盛り込むか。

(正副委員長会議申合せ事項)

2 委員会の運営

- (4) 委員の発言時間については、委員長においてできるだけ委員相互間の均衡を図るとともに、委員会の出席者においては、簡潔な質疑・質問及び説明・答弁に努めるなど、円滑な委員会運営に協力するものとする。

議会報告会の試行について（案）

1 趣旨

効率的、効果的な議会報告会のあり方を検討するため、他県での実施事例も踏まえ、昨年度とは異なる方法——特別委員会の県内視察・意見交換会に先立ち、試行するもの。

2 概要（案）

産業振興特別委員会の県内視察・意見交換会に併せて実施

- (1) 日 程 11 月以降
- (2) 視察先 働き方改革に取り組む事業所等
- (3) 参加者 産業振興特別委員会委員及び視察先選挙区選出議員
視察先の方
- (4) その他 報道機関に公開

3 大まかな流れ

- (1) 委員長あいさつ・議会報告（9 月定例会）
 - ・ 9 月定例会の概要説明（議案の本数、議決、意見書など）
 - ・ 委員会にかかわる質疑の概要

- (2) 各会派からの活動報告
この後開催される意見交換会の政策テーマに関する各会派の
取組み、活動の状況などを報告、説明

- (3) 意見交換
進め方は、委員会正副委員長で協議

- (4) その他 事前打合せ

<参考>H30 年度議会報告会（試行）実績

○富山県 P T A 連合会との意見交換会に併せて実施

日 時 平成 30 年 11 月 30 日（金：一般質問日）16:30～17:15

(15:00～16:30 県議会傍聴 17:15～18:15 意見交換会)

場 所 議事堂大会議室

参加者 県 P T A 連合会 会長ほか 24 名、
県議会議員 議長ほか議員 13 名（各会派出席）

県議会議員の出前講座の結果について

令和元年9月5日
議会事務局議事課

- 1 日時 令和元年9月5日(木) 13:55~15:15
- 2 場所 学校法人 和楽学園 美容専門学校 富山ビューティーカレッジ
富山市総曲輪3-3-16 総曲輪ウィズビル3階
- 3 参加者 上記専門学校 1年生 26名 教員4名
県議会議員(講師)4名 藤井(裕)議員、奥野議員、平木議員、岡崎議員
県議会事務局

4 次第

- (1) 導入、議員紹介、学生の紹介
- (2) 県議会の機能と役割について(議会事務局)
- (3) 議員とのグループディスカッション(4グループに分かれて車座討議)
- (4) グループディスカッションの結果発表

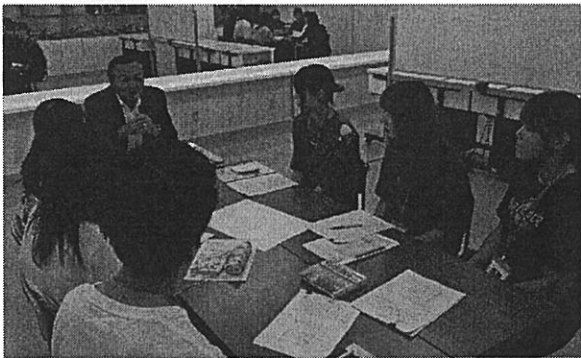
5 各議員のグループ討議のテーマ

- (1) 藤井(裕)議員 『仕事とは?議員とは?』
- (2) 奥野議員 『政策立案に挑戦』
- (3) 平木議員 『学校で教えてくれない政治』
- (4) 岡崎議員 『住みたい地域・富山県』



6 主な意見・感想

- ・政治は身近にあり、日々の生活のなかで不満や困っていることを伝えれば、改善につながると分かった。
 - ・SDGs(持続可能な開発目標)のため美容業界でも環境対策を実施していきたい。
 - ・夢を持つことの大切さが分かった。日本一安全な富山県にしてほしい。
- などの意見が出た。



高校生と県議会議員との意見交換会の概要

- 1 日時 令和元年9月12日(木:代表質問)
10:00~12:10 県議会傍聴(鹿熊正一議員の質問)
14:10~14:45 高校生と県議会議員との意見交換
- 2 参加者 県議会議員6名
中川議長(挨拶)
鹿熊議員、永森議員、井加田議員、川島議員、種部議員
高校生40名(県内高校等の生徒会代表(2年生))
教育委員会 伍嶋教育長ほか十数名(引率教諭含む)
- 3 会場 議事堂 第2委員会室
- 4 意見交換会次第
① 県議会議長挨拶
② 出席議員紹介
③ 県議会議員との意見交換

5 主な感想・意見、意見交換会の様子

中川議長からの挨拶の後、生徒から、議会傍聴の感想が発表され、その後、議員を志した理由、「女性議員を増やすことや、そのことによる社会への影響についてどう考えるか」、「県民の声を聞く上で、どのように交流しているか」、また「防災対策や県勢発展をどのように進めていくのか」などの質問が出された。

各議員は、「女性の声を行政に届けたいと議員を志した」、「PTA活動や、納涼祭など自治会の活動など様々な場面で、県民と交流し、声をお聞きしている」、「家屋の耐震化や家具の転倒防止策、適時適切な避難行動により救われた生命もあり、不断の啓発に努めている」、「産業の振興も図りながら、若い方達がわくわくするイベント、親子で楽しめる場を創出したい」など、自身の活動や県政の課題に対する考えについて、分かりやすく丁寧に答えた。また、高校生に議員の男女比のバランスはどうあるべきかを尋ねるなど、活発に意見交換が行われた。

